

19 さんかくだけ 三角岳 (753m)

地域 青森市近郊

2010年3月28日

- [ルート] 登山口⇄三角岳
[参加者名] CL S.NARITA 他14名
[コースタイム] 合浦公園駐車場6:30→みちのく有料道路ゲート手前駐車場7:25→
有料道路下ガード7:55→628m手前ピーク9:55→628mピーク10:45→
693mピーク11:18→三角岳山頂12:04(昼食)12:45→693mピーク13:10
有料道路駐車場15:52→合浦公園駐車場16:25

[山行記録]

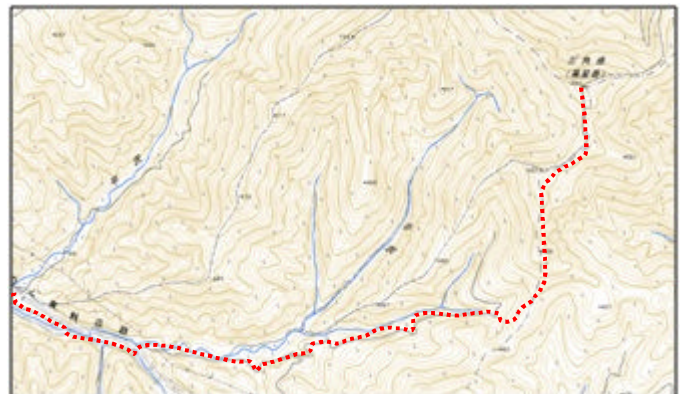
去年は尾根を越すことができずに途中撤退した大毛無山に、今年は三角岳を経て登ろうという計画。順調に春の足音を聞いていたはずなのに数日前に里にも積雪をみている。その時の新雪がまだ残っていた。全員ワカン装着。予報以上の好天に恵まれて、うさぎ・カモシカの足跡やねこやなぎの芽吹きを楽しみながらゆるやかな登りの林道歩き。林道から山に入ってから急斜面を巻いての前進で雪に足をとられないように注意しながら慎重に進む。628m手前ピーク直前で、リーダーは斜面上部にせり出しているセツピに注視して注意を促してくれた。628m手前ピークから先は尾



根上の雪が太陽に輝いていてそのまま前進できそうに思ってしまうがセツピの上なので危険。クレパスが数日前の降雪で隠れている箇所があり、先頭を行くリーダーが深みに足をとられているのを目にして緊張した。尾根左側の木がある方に道を通り進む。693mピーク到着は11:18。この時点で大毛無山まで行くのは無理があるとのリーダーの判断で三角岳までと決定。一旦鞍部へ下る。三角岳への登りは急登に加えて硬い雪の上に積もった新雪で足元が安定せず少々難儀しながらの登りとなった。建設省設置の反射板がある山頂到着は12:04。真青に晴れ渡った空・雪の八甲田

の峰々・遠くにかすんで見える岩木山・きらきら輝く陸奥湾・360度の絶景に疲れが吹き飛び歓声をあげる。すばらしい景色をもたっぶり味わいながらの昼食タイムは至福の一時でした。12:45下山開始。登りの時にリーダーが注意していたセツピがある場所は5人ずつ分かれて通過する。この時期の山行で特に注意をはらわなければならない「雪崩」の危険性を以前より身近に感じた貴重な経験でした。15:52無事駐車場着。

報告 H.HARADA



2009年3月15日

[ルート] フォレストコース 台 前岳
 [参加者名] CL S.NARITA 他 14名
 [コースタイム] 横内P → ロープウェー山麓駅 → フォレストコース 8:55 →
 小休止 中間地点 9:50→22看板(小休止) 10:10 → 前岳頂上 11:00
 → 22看板 11:30 昼食 12:00 → 12:40 下山終了 → 横内P

[山行記録]

天候、晴れているが前日からの強風でロープウェーの運行が気にかかる。定刻、全員集合後、車4台に分乗し山麓駅に向かう。道路には雪があり滑ること。案の定、山頂駅25mの強風の為、運休中とのこと、リーダー部が協議の上、乗るのはあっさりあきらめてフォレストコースを登ることに決定、移動。身支度を整えて登り始める、穏やかで雪も少なく歩きやすい。ブナの木に雪が張り付いて木間からは青空が見えている。何の足跡も無くとてもきれいです。雲の流れが速い風の音がゴーゴー唸っています。正面に前岳がくっきり見えて来ました。ちょっと武者震い。雪が深くなってきたので休憩をはさみながら交代でラッセル。フォレスト



中間地点を過ぎて間もなく右の方にロープウェーが見えて来ました。なんと動いてる。横目に見ながら又先に進む。22の看板あり、リーダー部集まって左寄りにそれて進むことに決まる。しばらく行くと急登に(ここも前岳ですか?)(んーんでね)雪はガリガリでスノーシューの爪が刺さりません。うっかりすると滑る。一步一步気をつけて木の間をくねくね曲がりながら登る。枝が両側からはり出して屋根がかかっているような所もありました。風が強くて帽子がとびそうです。前の方から初めての人早くおいでーと声がかかる。「はい 私はじめて」いそいそ

と頂上へ。山頂駅が真正面に見えています。ぐるりと回って見ると全部見えています、感激です。強風の中記念撮影、身支度を整えなおして下山開始。かんじきとちがいスノーシューはふんばりがきかない。滑り落ちそうで真正面をおけない。慎重に腰を落として一步步つそろそろと下山。柔らかい雪のある所はかえて滑る。急登が終わりほっと一息。皆早い、それぞれラッセルを楽しんでいます。22の看板までは一気に下山。昼食タイム、まずは寒くなる前に着こんで、熱いスープをいただく。昼食後は一気に下山、前の人があっという間に見えなくなっていました。遅れてあっちを見たりこっちを見たり、後も振り返って見たり、久しぶりの柔らかい雪と景色と会話を充分楽しんで下山終了。

※フォレストコースを登ると決まった時、たどりつけるかなあと思ったのですが意外にも、2時間ほどで頂上に立っていた！！急登に入ってから、スキーの人はたいへんだなどそれが気がかりだったのに、いくら遅れずに登って来た、すごい！！

報告 M.KASAI

